

鼻腔拭い液検体用

alfresa

体外診断用医薬品

製造販売承認番号 30300EZ00010000

同梱の添付文書をよくお読みのうえ、ご使用ください。

SARSコロナウイルス抗原キット アルソニック® COVID-19 Ag

— 検体採取方法・操作方法・判定方法 — **判定5分**

体調が気になる場合のセルフチェックとしてご使用ください。
無症状者への使用は推奨されていません。
症状がない時に使用した場合、結果が正しく出ない可能性があります。

あらかじめ検査に関する注意点、使い方等を
理解のうえ、検査を実施いただきます。

検体の採取および操作方法については
こちらのQRコードを読み取りご覧ください。



キットの内容

アルミ袋から取り出して
ご使用ください。

検体抽出液

テストプレート
(アルミ袋包装)

ノズル
(フィルター付き)



FLOQスワブ (滅菌綿棒)

テストプレート
検体抽出液
ノズル (フィルター付き)
FLOQスワブ (滅菌綿棒)

検体 (鼻腔拭い液) 採取方法

2cm程度

5回転程度

2cm程度

5秒程度
静置

- ① 鼻孔 (鼻の穴の入り口) から滅菌綿棒を2cm程度挿入します。
- ② 滅菌綿棒を鼻の内壁に沿わせて5回程度回転させます。
- ③ 5秒程度静置し、引き抜きます。
- ④ 滅菌綿棒が十分に湿っていることを確認します。

判定方法

| 陽性 | 陰性 | 再検査 | 再検査 |
|----|----|-----|-----|
| | | | |

判定時間は試料滴下後5分です。試料滴下後5分経過しても判定ライン(T)が認められない場合、陰性と判定してください。(必ず確認ライン(C)の出現を確認してから、判定してください。)

操作方法

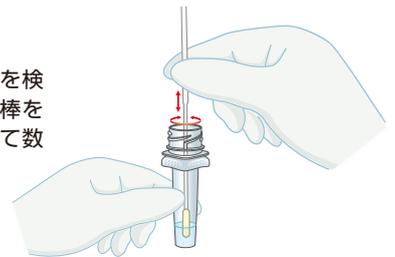
1

検体抽出液を飛び散らせないようにアルミシールをゆっくりはがします。



2

検体を採取した滅菌綿棒を検体抽出液に浸し、滅菌綿棒を回しながら上下に動かして数回攪拌します。

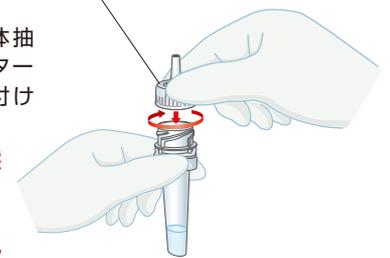


3

ノズル
(フィルター付き)

滅菌綿棒を引き出し、検体抽出容器にノズル(フィルター付き)をしっかりと取り付けます。

※本品はクリック機構を採用しています。
クリック機構(ツメ部分)を乗り越えるまでノズルを完全に締めてください。



4

テストプレートをアルミ袋から取り出し、平らなところに置き、容器をテストプレートと垂直になるように持ち、3滴を滴下します。

テストプレート



5分後判定

してはいけないこと

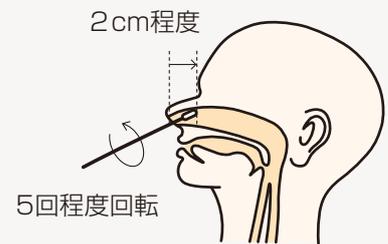
- ◆ 小児の手の届く所に保管しないでください。
- ◆ 検体抽出液はキット内のものを使用し、飲まないでください。
- ◆ テストプレート等は分解しないでください。
- ◆ 滅菌綿棒は鼻腔専用ですので、鼻腔以外に使用しないでください。
- ◆ 検体採取の前に、滅菌綿棒を検体抽出液に浸さないでください。

取扱いについて

- ◆ 本キットは使い捨てです。
- ◆ 2～30℃で保管してください。
- ◆ 冷蔵保存の場合は、使用前に室温に戻してから使用してください。
- ◆ 滅菌綿棒の入った袋が破損している場合や、滅菌綿棒に破損や折れ曲がり、部分的な白化、汚れがあった場合は使用しないでください。
- ◆ 滅菌綿棒の軸が折れる可能性があるため、軸部分に強い力を加えたりしないでください。
- ◆ 検体抽出液が誤って目や口に入った場合は、大量の水で十分に洗い流す等の応急処置を行い、必要に応じて医師の手当て等を受けてください。

鼻腔拭い液採取方法について

- ◆ 採取できる方は実施方法等を理解し、自己採取可能な方です。自分で採取して検査を行います。
- ① 鼻孔（鼻の穴の入り口）から滅菌綿棒を2cm程度挿入します。
- ② 滅菌綿棒を鼻の内壁に沿わせて5回程度回転させます。
- ③ 5秒程度静置し、引き抜きます。
- ④ 滅菌綿棒が十分に湿っていることを確認します。
- ※ 検体採取の際、同居人等がいる場合は、他者と向き合わない方向を向くか、他者とガラス等により隔てられた位置に移動して実施してください。
- ※ 他者による検体採取は感染等のリスクを伴う可能性があり、また鼻咽頭（鼻の奥）拭い液の自己採取は危険かつ困難であるため、鼻腔拭い液の自己採取によって行ってください。



検査後の対応

| 判定結果 | 対応 |
|------|--|
| 陽性 | 一定期間は外出を控えることが推奨されます。必要に応じて、医療機関に連絡してください。 |
| 陰性 | 偽陰性（過って陰性と判定されること）の可能性も考慮し、必要に応じて、医療機関に連絡してください。 必要な場面でのマスク着用やこまめな手洗い等の基本的な感染予防対策を継続してください。 |

- ◆ 検査結果は診断の確定に使用するものではありません。
- ◆ 抗原定性検査の結果を踏まえて被験者が感染しているか否かについての判断が必要な場合は医師に相談してください。

廃棄について

- ◆ 検査に使用したキット（滅菌綿棒、検体抽出容器等を含む）を廃棄するときには、ごみ袋に入れて、しっかりしばって封をしてください。
- ◆ ごみが袋の外面に触れた場合や袋が破れている場合は二重にごみ袋に入れる等、散乱しないように気を付けてください。

参考：環境省webサイト

新型コロナウイルス感染症に係る廃棄物対策について
取りまとめた資料

https://www.env.go.jp/recycle/waste/sp_contr/infection/coronakoho.html

新型コロナウイルスなどの感染症対策のためのご家庭でのごみの捨て方

～家庭ごみを出すときに心がける5つのこと～